

青梅市社会教育委員会議 11月定例会会議録

平成27年11月20日

201会議室

出席者 委員 10名

事務局 3名

1 開 会

【議 長】先日、青梅市の市長選があった。竹内前市長は4期16年で引退、新しく浜中市長が誕生した。竹内市政を継承するという事だが、青梅市の財政が厳しい中での新たなスタート。良い青梅市を作ってほしい。

【課 長】秋の事業も順調に進めている。北小曾木ふれあいセンターの住民説明会を明日開催する。御岳山、永山ふれあいセンター、釜の淵市民館については、指定管理者の更新があり12月議会に議案を上程する。

2 報告事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会会議録について
(報告資料1)

【事務局】平成33年に東京都で関東甲信越静の研究大会を実施することとなっている。2年前から準備をしていくことしており、青梅市は、平成31年度に都市社連協の副会長市、32年度に会長市となるので、中心となって準備を進めていくことになる。開催される33年度は府中市が会長市となる。

(2) 平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会
について

ア 日 時 平成27年10月24日(土) 午後1時開場

午後1時30分開演

イ 会 場 福生市民会館 第4・5集会室

ウ 内 容 基調講演、事例発表、グループ討議

エ 参加者 宇津木議長、新藤委員、金子委員、小花委員、小林委員

随行 事務局 木下・土屋

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】参加された委員から感想をいただきたい。

【委 員】社会教育委員と深く関わりがある前福生市長が行った基調講演は、昔からの話が非常にためになった。事例発表では、地域支援組織について、福生ではコーディネーターが実際に動き出しており、具体的な話を聞いて大変良かった。

【委 員】前福生市長の基調講演が、社会教育行政への熱い思いを語られていたのが印象的だった。学校地域支援組織の話は、学校には様々な役割のコーディネーターがおり、それぞれの役割の違いに戸惑う方がいた。青梅にはまだな

いが良い制度だと思った。

【委員】グループ討議で出た支援の形について、地域の中には、自ら学校へアピールされている方も多数いる。そういった活動が広がっていけばいいと思った。

【委員】グループ討議では、学校地域支援組織という事で、学校が地域に依頼をする際にコーディネートする立場の方がいるといいと思った。

【議長】資料に、学校支援組織の支援ボランティアの特徴がある。学校の要請において出来る人が出来る時に出来る事を支援する。他人から強制されるのではなく自発的意思によって行われると書かれている。本当にやってみたい人が手伝うというもの。やりたい人がやる事が良い。学校と地域が連携して子供を育てる環境が大事だ。

(3) 第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会について

ア 日 時 平成27年11月5日(木) 午前11時30分開場
午後12時30分開演

イ 会 場 ベイシア文化ホール(群馬県前橋市)

ウ 内 容 記念講演、パネルディスカッション

ウ 参加者 宇津木議長、新藤委員、福島委員

随行 事務局 木下・土屋

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】参加された委員から感想をいただきたい。

【委員】パネルディスカッションのコーディネーターの発言で、人口の急減が大きく影響してくるとの話が出た。日本の人口は2060年には8,600万人になるとの推計がある。青梅市もこれを見据えて予算や補助金を考える必要がある。人口減の中で今までと同じ要求をしていくのは無理。また、災害発生時、地域住民の連携が必要という話を聞いた。社会教育に携わる中でこの事を第一前提で考えていく必要性に気付かされた。アトラクションでの八木節は素晴らしかったが、みんな高齢者だった。パネルディスカッションのテーマ、「温もりのある地域社会を目指した社会教育委員の今後の可能性について」を考える中で、その前提が現状のままでは維持できないという事を考えさせられた。

【委員】伝統文化がなくなっていく危機感を最初に感じてしまった。荻原健司氏の講演では、なぜ日本が勝てないのか、勝てない理由として日本人は規律を守ることはできるが、勝つ気力がない。勝つためのキーワードとして、自主性、主体性を挙げていた。やらされている感覚ではなく自分から強くなろうという感覚でないと世界に太刀打ちできない。そういうところに力を入れた方が良いという話であった。パネルディスカッションでは、地域に根差した社会教育であるべきだと感じた。

(4) (一社)全国社会教育委員連合機関誌『社教情報』第74号の購入につ

いて

(報告資料)

【事務局】資料にもとづき説明。

(5) 平成27年度青梅市芸術文化奨励賞について

(報告資料3)

【事務局】資料にもとづき説明。

11月5日教育委員会において社会教育委員会議で審査した通り承認が得られた。12月5日に青梅市民会館で行われる小・中学生の主張大会の会場において表彰が行われる。

(6) 青梅市社会教育委員会議10月定例会会議録について

(報告資料4)

【事務局】資料にもとづき説明。

(7) その他

特になし

3 協議事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・全体研修会について

(協議資料1)

ア 日 時 平成27年12月5日(土) 午後1時30分～5時15分

イ 場 所 西東京市保谷こもれびホール

ウ 内 容 式典・各ブロック研修会実施報告・パネルディスカッション

エ 参加者

～宇津木議長、新藤委員と事務局2名の計4名で交流大会のみの参加を確認～

(2) 12月定例会について

～休会とすることです承～

(3) その他

特になし

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会 平成28年1月19日(火)